

コミットメントライン契約の決定要因 —日本の上場企業のデータを用いた実証分析—

本田 朋史

〈要旨〉

本稿は、2004–2017年に上場していた日本企業を対象とし、コミットメントライン契約の決定要因を明らかにするため実証分析をおこなった。プロビットモデルによる推計結果から、次のことが明らかとなった。第1に、キャッシュフロー、設備投資需要の増加は、コミットメントラインを契約する確率の増加につながる。第2に、主要取引銀行との関係が緊密な企業ほど、コミットメントラインを契約する。

また、本稿では、コミットメントラインに類似した当座貸越を考慮し、多項プロビットモデルによる推計をおこない、上記のコミットメントラインに関する結果が頑健であることを確認した。更に、当座貸越契約の決定要因に関して、コミットメントラインの結果と同様に、キャッシュフローの増加が当座貸越を契約する確率の増加につながることが明らかとなった。一方で、コミットメントラインの結果とは異なり、銀行企業間関係が緊密である企業ほど、当座貸越を契約しないことが観察された。

(一橋大学)